



『新宿力』で創造する  
やすらぎとにぎわいのまち新宿

令和3年第1回区議会定例会  
新宿区長定例記者会見資料  
令和3年2月9日(火)

事業名	バリアフリーの基盤整備	予算(案)の概要	111 ページ
予算額	令和3年度予算額 (前年度予算額)	201,232 千円 54,766 千円	(拡充)
取材先	都市計画部都市計画課長 小俣 (電話 03-5273-3543)		

## 誰もが円滑な移動を確保できるよう 区内のバリアフリー整備を促進しています

### 1 令和3年度に(仮称)新宿区移動等円滑化促進方針を策定します

#### 移動等円滑化促進方針とは

区全体において一層のバリアフリー化を図るため、施設と経路の連続性を確保することや、ソフト施策等、総合的なバリアフリー化の方針を示したものです。

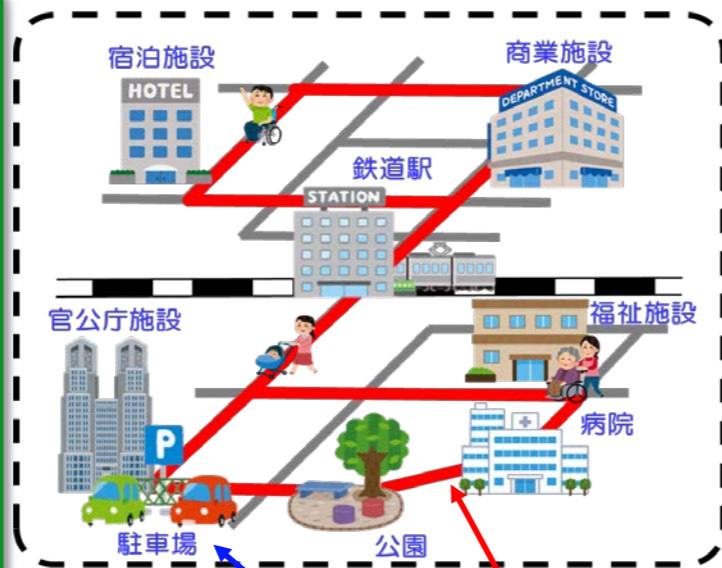
#### ○ 移動等円滑化促進方針に示す内容

① 高齢者や障害者等が多く利用する施設  
駅や官公庁施設、福祉施設のような施設の中から、高齢者・障害者等が、日常生活において多く利用する施設を「生活関連施設」として選定します。

② バリアフリー化すべき経路  
生活関連施設を結ぶ経路(駅から官公庁施設や福祉施設等を結ぶ経路)の中から、高齢者・障害者等が日常生活において多く利用する経路を「生活関連経路」に選定します。

③ 生活関連経路のバリアフリー化の方針  
選定した生活関連経路について、バリアフリー化の方針を示します。

【策定のイメージ】



○生活関連施設  
高齢者や障害者等が多く利用する施設(上記に示す鉄道駅、官公庁施設、福祉施設等)

○生活関連経路  
バリアフリー化すべき経路(上記に赤線で示す経路)

#### ○ これまでの主な取り組み

【まちあるきワークショップの開催】  
(令和2年10月、11月に7回開催)

現地で高齢者や障害者、子育て世代等の当事者と一緒に、鉄道駅における遠回りな乗換ルートや、幅員が狭いため車いす使用者の円滑な移動が困難な歩道などの課題を確認しました。



<まちあるきワークショップの様子>

#### ○ 令和3年度の主な取り組み

【パブリックコメントの実施】 令和3年6~7月頃(予定)  
広く意見を募集し、検討を進めます。



【移動等円滑化促進方針策定協議会の開催】 令和3年9月~10月頃(予定)  
学識経験者や当事者、関係事業者の多様な意見を方針に反映し、方針策定に向けた検討を行います。

【促進方針の策定及び策定後の周知啓発】 令和3年秋策定(予定)  
パブリックコメントの結果や協議会での意見等を踏まえ、方針を策定します。  
策定後は、促進方針の周知啓発や、鉄道事業者等、関係機関と協議を実施します。



### 2 鉄道駅のホームドア及びエレベーターの設置促進を図っています

#### ○ 事業の概要

鉄道駅の安全性向上や、快適な利用空間を整備するため、鉄道駅のホームドア及びエレベーターの設置に係る費用を一部補助し、設置促進を図っています。

#### ○ 令和3年度に設置完了予定の駅

● 小田急線新宿駅ホームドア設置  
令和3年度区補助額：140,000千円



● JR総武線大久保駅ホームドア設置  
令和3年度区補助額：50,000千円



区内全駅でのホームドアの設置やバリアフリールートの最短化がより一層進むよう、引き続き、鉄道事業者に働きかけてまいります。